

対モンテネグロ 国別援助方針

2015年5月

1. 援助の意義

モンテネグロ経済は、2006年にセルビア・モンテネグロから独立以降、低インフレ率、観光収入の伸び、外国からの直接投資の増大等に支えられ、順調に推移してきた。2008年後半以降の世界金融危機及びそれに続く欧州債務危機の影響を受け、一時マイナス成長に陥ったが、2010年以降、おおむね回復基調にある。

同国は、EU加盟を目標とし、持続可能な経済成長を通じた安定したマクロ経済環境の維持及び海外直接投資の呼び込みに取り組んでいる。中でも主要産業である観光業の促進に向けた規制緩和やインフラ整備などのビジネス環境改善、サービスの質の向上などによる民間セクターの競争性の強化に注力している。

一方で、同国では、経済開発の進展に伴い、自然環境の悪化が指摘されており、2007年に同国が策定した「持続可能な開発のための国家戦略（National Strategy of Sustainable Development of Montenegro）」では、生物多様性保全、大気汚染、水管理や廃棄物管理などに取り組むべき課題として掲げている。

我が国が同国に対して、このようなEU加盟を目指した持続可能な経済成長に向けた努力を支援していくことは、我が国との友好関係の一層の強化に資することに加え、同国のみならず、西バルカン地域全体の安定にとっても重要である。

2. 援助の基本方針（大目標）：持続可能な経済成長に向けた支援

民間セクターの開発や環境保全といった、我が国の優れた技術や知見を活用できる分野を中心にモンテネグロの持続可能な経済成長に向けた取組を支援する。

3. 重点分野（中目標）

（1）民間セクター開発

モンテネグロの持続可能な経済成長のために重要な、中小企業振興、観光振興等の分野において、技術協力を通じた支援を行っていく。

（2）環境保全

同国は大気汚染、水管理や廃棄物管理などを含む環境保全分野で課題を抱えている。EU加盟に向けて、環境分野でEUが定める様々な基準を達成するために更なる取組が必要とされていることから、我が国の有する技術と知見を活かした支援を行っていく。

（3）保健医療・教育

同国による都市部と地方との間の経済社会サービスの格差是正に向けた取組を支援する。具体的には、保健医療・教育分野を中心に女性・女兒を含む社会的弱者が直

接裨益するような支援を行っていく。

4. 留意事項

モンテネグロ経済は EU 経済への依存度が高いため、EU 経済の動向が同国に及ぼす影響に留意する必要がある。

(了)

別紙： 事業展開計画